

たてやま再起動2026



その1 農業

法人化による持続化や 担い手に寄り添った支援体制

担い手不足が懸念される地域に担当職員又はOB職員を配置。多面的機能支払い交付金の事務処理、基盤整備や大型機械導入などの補助申請を支援します。

その3 地鉄立山線

重軌条化(重いレール)や新型車両導入 により、安全で省エネな鉄道を実現

立山線のうち、岩崎寺駅から立山駅間については、令和9年度から国の鉄道事業再構築事業(国1/2、県1/4、富山市と立山町で1/4を負担)の採択を目指します。



その2 町営バスを再構築

AI技術を活用した 予約制の乗合ワゴン車を運行

自宅そばの集落公民館等から、医院やスーパーなどに直接出かけることができるようになり、バス運転手不足にも対応します。

その4 立山方式

家計支出を抑えるために、剪定枝の回収 事業を拡大。古紙回収ステーションを 増やします。

富山市がごみ有料化(45ℓ袋で45円)し、減量に成功すれば、その分、他の自治体の負担が増えます。富山市を上回るような減量施策が必要です。

その他…

物価高騰により、
経済的に厳しい
家庭を支援

その1 子育て家庭 学校給食費

小学校分を無償化(国の支援措置の不足分は町が負担)します。なお、立山町では経済的に厳しい家庭には、平成24年から無償化しているので、学用品などの購入支援の増額をします。中学校分は、物価高騰を考慮した支援措置を検討中。

その2 国7年度補正予算「物価高騰対応重点支援地方創生交付金」を

- ①住民税非課税世帯(約1800世帯)にたてぽ1万ポイント。
- ②児童手当対象者(18歳以下)に1万円。※①と②は令和7年12月議会で可決済。
- ③2月 その他の物価高対策を議会と協議・決定します。

舟橋貴之プロフィール

経歴

1965 5月17日生まれ(60歳) 利田小、雄山中、富山東高校卒
1988 明治大学商学部卒
河野洋平事務所の方針により、サラリーマン1年経験後
1989 河野洋平秘書(8年間)
1997 妻と長女を連れて帰郷
1998 立山町議会議員(32歳) 当時、県内最年少議員 2期連続トップ当選
1999 県内の若手市町村議会議員で構成する政策勉強会「政策フォーラム34」を設立、代表
2006 立山町長に当選(40歳)

現職

全国中山間地域振興対策協議会
常任理事相談役(前会長)
全国観光地所在町村協議会 副会長
富山県町村会長



2025年4月
河野洋平先生(88歳) 内閣官房
長官時に富山で媒酌人をお願い
しました



HP Facebook @FUNAHASHITAKAYUKI

30年目 校友代表

1988年(昭和63年) 商学部卒業

舟橋 貴之 富山県立山町長

不正な金の力によって政界に絶大な影響力を保持していた田中角栄元首相とその流れを組む政治(田中のなるもの)を打破したいと雄辯部に入り、「政治倫理確立を」と渋谷ハチ公前などの遊説や選挙に明け暮れていました。遊説中、三木武夫(元首相)先輩からの差し入れがあり、感激したことを覚えています。一番の楽しみは秩父宮ラグビー場に行くことでした。「前へ」が、私の人生にどれだけ勇気を与えてくれたかわかりません。

1988年(昭和63年)3月 商学部商学科卒
1989年(平成元年)4月 児童院議員河野洋平秘書(8年間)
1998年(平成10年)2月 立山町議会議員(2期8年間)
2006年(平成18年)2月 立山町長(4期13年目)

2018年10月28日
『ホームカミングデー』
明治大学商学部
卒業30年目代表でスピーチ

